



家庭ごみ（粗大）処理 手数料の改定案について

令和 7 年 1 1 月 2 5 日

旭川市環境部

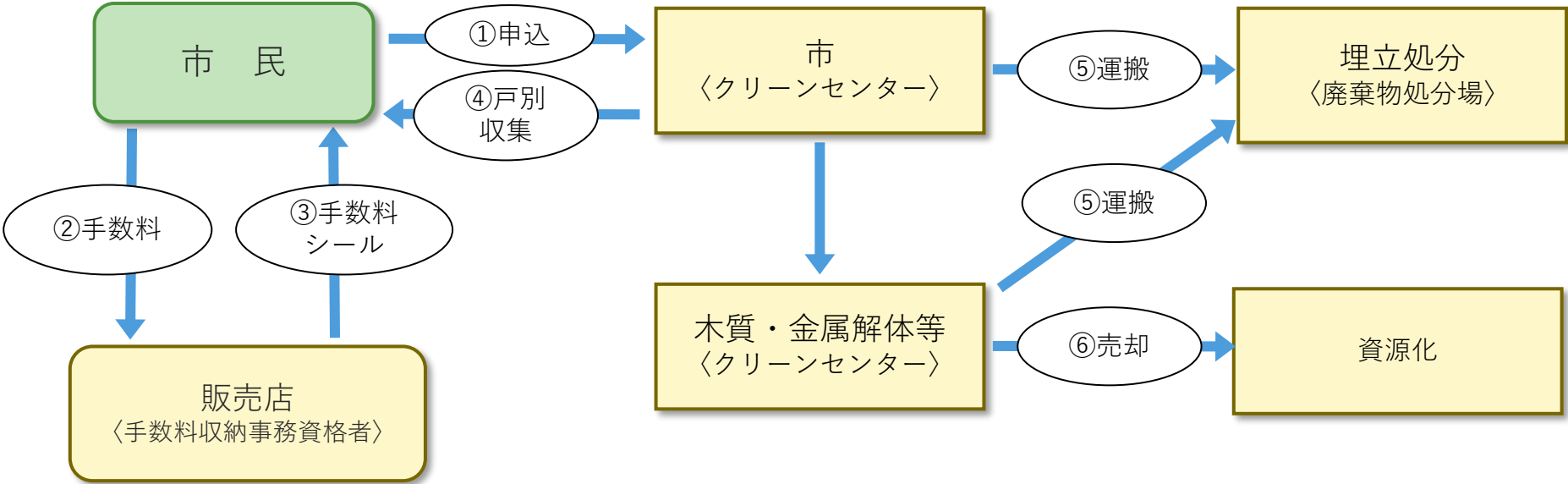
ASAHIKAWA CITY

手数料の対象となる一般廃棄物と排出者

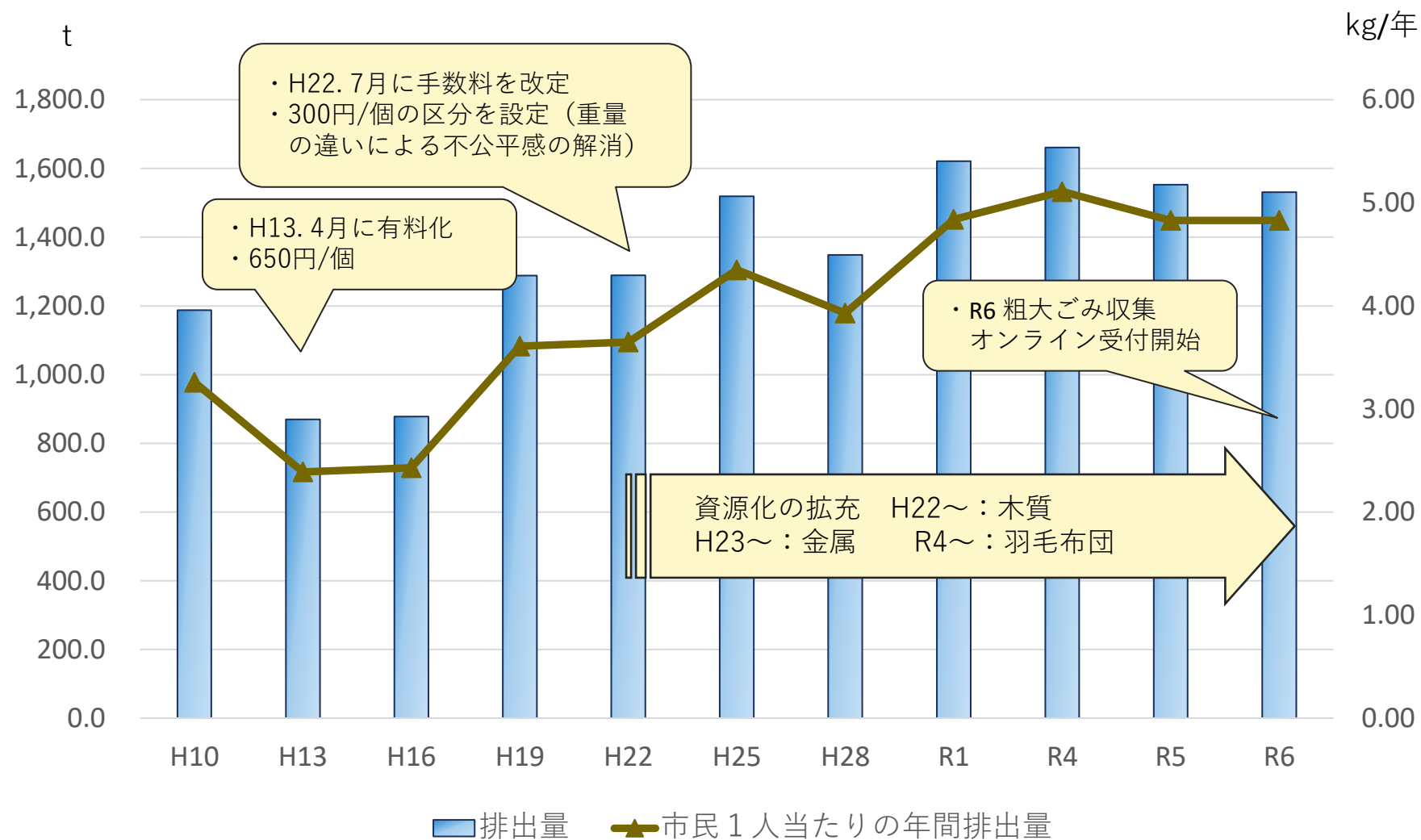


手数料の額 (1個につき)	一般廃棄物		排出者
300円	粗大 (軽量)	・当該品目の平均的な重量がおおむね10kg未満 ・最大の辺又は径が1m未満	粗大ごみを排出する市民
650円	粗大 (その他)	・当該品目の平均的な重量がおおむね10kg以上 100kg未満	粗大ごみを排出する市民

〈処理のフロー図〉



家庭ごみの排出量等の推移（粗大）



手数料コストの算定



	コスト算定の対象年度（実績）	有料化時	H 2 2 改定	今回の見直し		
		H 1 0	H 2 0	R 4	R 5	R 6
処理量 （R4～R6：個）	軽量 300円	—	—	4 8, 2 2 2	4 6, 7 0 3	4 5, 5 5 2
	その他 650円	—	—	4 1, 2 5 4	3 8, 0 4 8	3 8, 3 9 4
手数料コスト （円／個）	軽量 300円	—	7 9 4	7 7 1	8 5 4	1, 0 5 1
	その他 650円	6 5 3	1, 5 8 0	2, 1 7 2	2, 4 0 9	2, 9 1 7
排出者負担 割合（％）	軽量 300円	—	3 7. 8	3 8. 9	3 5. 1	2 8. 5
	その他 650円	9 9. 5	4 1. 1	2 9. 9	2 7. 0	2 2. 3

H 1 0	収集に係る経費及び埋立に係る経費をそれぞれ家庭ごみの排出量及び埋立総量で除した額から算出した1 k gあたりのコストに、粗大ごみの1個当たりの平均重量（3 0 k g）を乗じて算出
H 2 2 改定	軽量区分の設定に当たり、H 2 0の粗大ごみの平均重量1 9. 9 k gに対して、軽量のものを1 0 k gを基準にし、約2分の1の額に設定
R 4 ～ R 6	粗大ごみの収集運搬に係る人件費、車両の更新・維持管理に係る経費、手数料シールの製造・販売に係る経費、収集したごみの埋立処分に係る経費等の合計を手数料の区分に応じて重量で案分し、それぞれの処理量（個数）で除して算定

手数料の改定案



区分	現行	コスト (R 4 ～ R 6 平均)	改定案
軽量	3 0 0 円／個	8 9 2 円／個	4 5 0 円／個
その他	6 5 0 円／個	2, 4 9 9 円／個	9 7 0 円／個

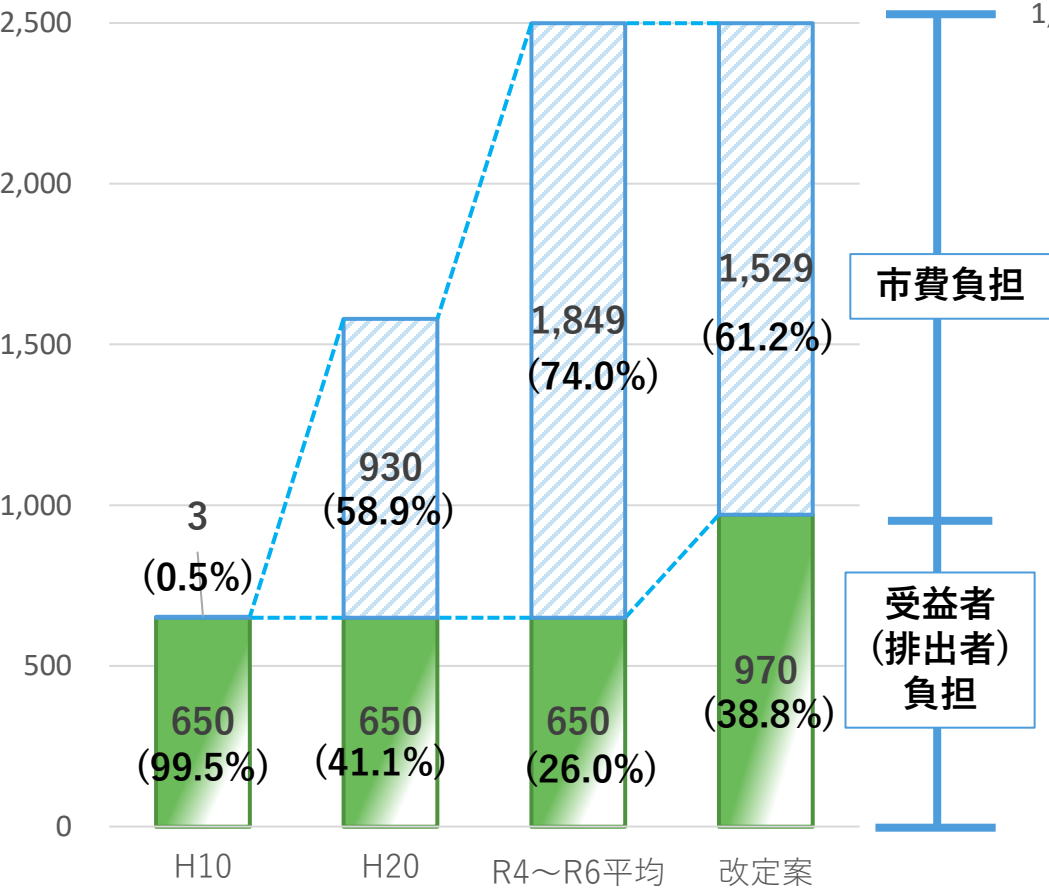
激変緩和措置の適用
(現行手数料の 1. 5 倍まで)

改定料金の適用時期 (案)	令和 9 年 4 月 1 日
---------------	----------------

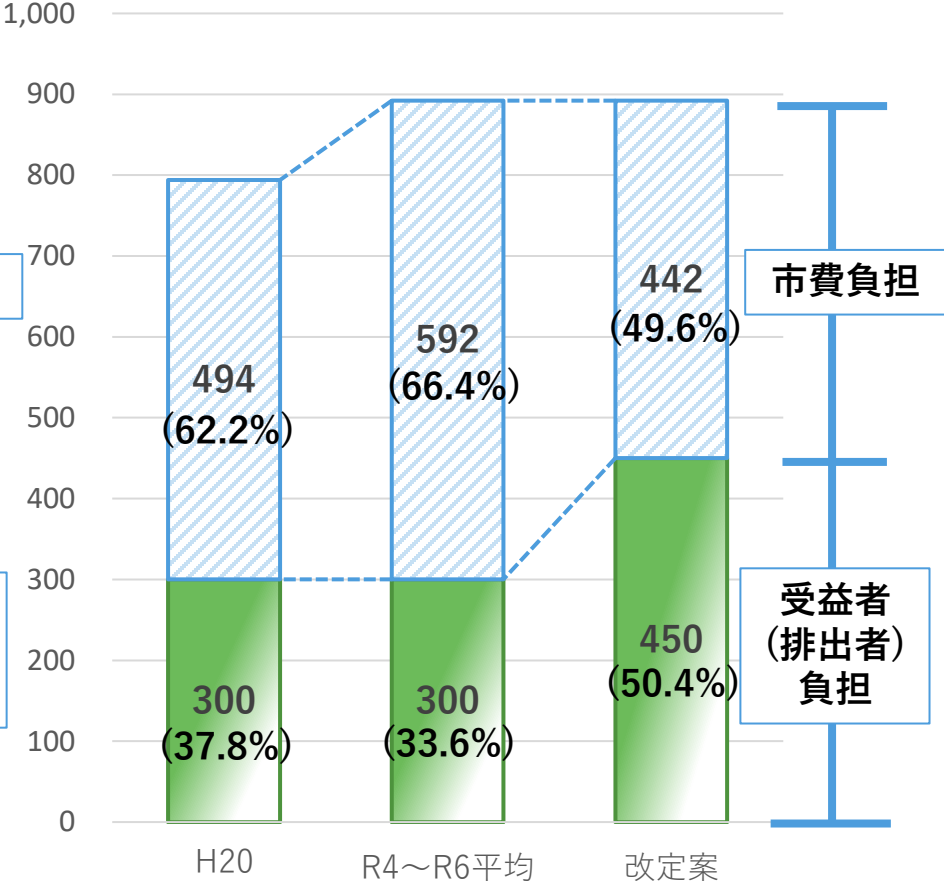
受益者（排出者）負担割合の比較



その他



軽 量



道内主要都市の状況



	手数料 (円／個)	備考	減免の状況
旭川市	4 5 0、9 7 0	見直し案	生活保護世帯の減免の在り方について検討を進める
	3 0 0、6 5 0	現 行	生活保護
札幌市	2 0 0、5 0 0、9 0 0		生活保護
	1 3 0 0、1 8 0 0		
函館市	2 0 0、4 0 0、6 0 0		低所得者（生活保護除く）
小樽市	排出者が許可業者に依頼		なし
室蘭市	2 4 0		なし
釧路市	3 9 2		なし
帯広市	6 0 0		災害時
北見市	3 0 0	R8.10月から450円	生活保護
苫小牧市	3 0 0、6 0 0		なし
江別市	2 5 0、5 0 0、1 0 0 0		なし

手数料改定による影響額



区分	排出の頻度（※）	現行	改定案	影響額
軽量	1世帯当たり 3～4年に1個	300円／ 個	450円／ 個	150円／ 個
その他	1世帯当たり 4～5年に1個	650円／ 個	970円／ 個	320円／ 個

※ 1世帯当たり1個の粗大ごみを排出する年数を、R4～R6年度の粗大ごみの処理個数（戸別収集に係るもの）及び世帯数から算出